

# 東日本大震災 支援活動 続報

発行  
(社) 埼玉県接骨師会  
企画総務部

さいたまスーパーアリーナでの支援活動は避難者の移動にともない3月29日にて終了しました。地元の浦和支部・大宮支部をはじめ県内各地から多くの会員の協力を得て延べ880名の被災者の方々にケアをすることができました。

ケアを受けた被災者の方々のみならず、行政はじめ各界からこの活動に対し高い評価をいただいたことは、公益法人としての本会、そして地域に根ざした柔道整復師の必要性・重要性を様々な方面に強く印象付ける結果になったことと思っております。

ボランティアに対しては様々な意見がありますが、柔道整復師として困っている方々を目の当たりにし「何かしてあげたい」という一人ひとりの「医療人としての心意気」が結集し、このような大きな活動になりました。改めまして心より感謝申し上げます。

現在、アリーナでの避難者の移動に伴い、以下の各避難所にて地元の会員を中心に引き続きケアボランティアを行っております。

震災より時間が経つにつれて、避難者の方々に必要なケアも変わってきており、また、その避難所の状況によっても活動内容も違ってきます。その会場において、どのようなケアがより必要で効果的なのか携わっておられる先生方にはご苦勞をお掛けしていますが、それぞれの避難所で素晴らしい活動がなされております。これらの活動に対しましても近隣の会員のみならず、ご都合の付く会員の皆様のご協力をお願いいたします。

## 旧騎西高校

さいたまアリーナにいた福島県双葉町の1,400名が移動してきました。

加須市医療部との連携の下、半田 彰北埼玉支部長をリーダーとして北埼玉支部、近隣支部及び県内各地域からの協力者で、4月10日より月曜日～土曜日、午後1時～2時半の時間帯でケアボランティアを行っています。加須市医療部との話し合いでは、今後は高齢者を中心として「廃用性症候群」に対する機能訓練も活動の中に取り入れていく予定です。



## 片柳コミュニティセンター

さいたま市見沼区の片柳コミュニティセンターでは、田川司郎会員をリーダーとして大宮支部会員有志により、4月当初より社会福祉協議会との協力の下ケアボランティアをはじめました。実施概要は以下の通りです。

- 実施日時 毎週 月、水、木の各曜日 午後1時～3時
- 実施形態 二人一組となり希望者に必要なケアを行う。
- 特記事項
  - ・行政側の協力を得て畳の部屋を確保している。
  - ・実態として避難者の数は減少している。

※避難者移転のため4月25日にて活動を終了いたしました。



## 幸手市老人福祉センター

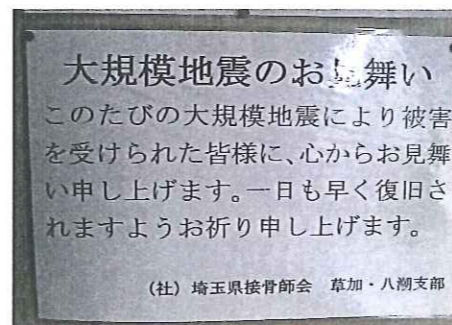
埼玉支部有志が、幸手市および福島県富岡町職員と協議し3月27日より、高塚 隆会員をリーダーとし幸手市老人福祉センターでケアボランティアを開始しました。長期化が予想されるため毎週日曜日を実施日とし、3月27日には50名、4月3日には30名と非常に多くの避難者の方々にケアを実施し、現在も活動継続中です。

## 草加・八潮支部の活動

鈴木雅人（前支部長）会員が行政と折衝を行い以下の地区にて活動を実施中。

### 【草加地区】

草加市健康福祉部との連携により、増田憲治会員が責任者となり一時避難所(吉町集会場(3月25日まで)旧花栗小学校)にポスターを貼り支援活動を行っています。昼休みの時間帯にけがのケアをボランティアでできる体制を敷いています。



### 【八潮地区】

八潮市は行政（八潮市ふれあい福祉部 福祉課）からの直接依頼により山本清次会員の接骨院でけがのケアをボランティアとして毎週月曜日から土曜日までの施術時間で行っております。

## 支援ポスター

浦和支部一三三公延会員（書家）により、支援ポスターが作られました。

「がんばろう日本」の力強い文字は復興への固い決意を表し、日の丸（日本国）を中心に皆が寄り添い支えあう気持ちのこもった素晴らしいポスターができあがりました。

会員の皆様には、ぜひ診療室に貼っていただき、公益法人「特例民法法人」としての埼玉県接骨師会とその会員である我々の確固たる姿勢を一般の方々に理解していただきたいと思っております。

(文責 本間 琢英)

